

【一般質問】通告書(令和5年12月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	河野 巧	1. 旧野津高校跡地利活用事業について	<p>旧野津高校跡地利活用事業者として運営を行っていた株式会社NEXT FARMの破産手続開始が決定し、民間信用調査会社によると負債総額が4億6200万円に上っていることが報道されました。この事業について市の見解を伺います。</p> <p>(1) 旧野津高校利活用事業の目的はいったい何だったのか、総括はできましたか。</p> <p>① 農業のさらなる振興の拠点 ② 地域振興の拠点 ③ これまでの市長の説明で、事業失敗の原因や問題点を市民は納得できていますか。</p> <p>(2) 旧野津高校跡地の今後について</p> <p>① 施設見学会を開催しましたが、結果をどのように受け止め、どのように活かそうと考えていますか。 ② 意見交換会も開催されましたが、結果をどのように受け止め、どのように活かそうと考えていますか。 ③ 再活用に向けたアンケートはどのような結果で、今後どのように活かして、事業を行う考えですか。</p>		
		2. 今後予想される少子化に対応した幼保小中学校の適正配置の検討について	<p>白杵市教育委員会において、市内小・中学校の適正配置の検討が進められていますが、少子化が進む中、「白杵市子ども・子育て支援事業計画」や白杵市の乳幼児教育の方向を示す「白杵っこ育ての羅針盤」に示す、乳幼児期から小・中学校の継続した教育について、一体的に検討が必要だと考えます。そのため、以下について伺います。</p> <p>(1) 保育所(園)、幼稚園、認定子ども園の配置に関する市の考え方について (2) 家庭や地域にとっての小・中学校の役割やあり方に対する市の考え方について (3) 市民に向けた公立学校の適正配置に関するあり方検討委員会の検討報告について (4) 「適正」とは、誰に対して、何に対して、いつの世代に対する考え方でしょうか。</p>		
		3. 白杵市の土地購入について	<p>白杵市は、予算書に計上しない土地を購入する手続を議会の承認なく行い、購入する以前に民間事業者と相談をして購入し、売買する協定書を令和4年度に結んでいます。予算書になく「土地開発基金」により購入している実態は、地方自治法第232条の3による、「行政の支出は予算の定めるところに従う」に合致しないと考えます。基金からの購入では、市民はもとより、議会にも見えにくい形で利用され、議会の議決を経ず、高額な土地が売買されることとなります。そこで、以下について伺います。</p> <p>(1) 白杵市が土地購入を検討する時期及び購入に至るまでの手続について (2) 予算書に計上しないまま、民間事業者と相談をして土地購入を行う場合の考え方や法的根拠について (3) 土地開発基金条例による基金の額は7億8000万円と規定されているが、基金の運用の考え方、現在所有している土地の評価額算出方法、購入時と現在の評価額の差額及び基金の歳入歳出に関する予算計上方法について</p>		
		4. AIを活用した音声テキスト化(各種会議内容議事録作成)の導入について	<p>事務の不正を防ぎ、説明責任を果たすために、各種会議の議事録など検討経過を残すことは重要と考えますので、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 白杵市では現状、議事録について会議から公開できる状況に至るまで、どのくらいの期間で行っていますか。 (2) AIを活用した音声テキスト化の導入についての考えはありますか。</p>		
2	川辺 隆	1. 白杵城跡(白杵公園)の活用について	<p>(1) 現在の白杵城跡(白杵公園)の活用状況をお伺いします。 (2) 今後の予定等あれば、教えてください。</p>		

【一般質問】通告書(令和5年12月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
3	内藤 康弘	1. 白杵市農業の現況について。	<p>(1) 白杵市の鳥獣被害について 全国的に農作物の鳥獣被害が深刻な状況です。最近では熊やイノシシによる人間への被害がニュースになっています。 白杵市では、防護柵や電柵設置を補助事業として各地区ごとに事業を行っており、一定の効果があります。 一方、猿の被害も深刻です。猿は防護柵や電柵では効果がありません。早急な対応が必要と思われます。 そこで、以下質問いたします。</p> <p>① 過去3か年の農作物の被害額はどれくらいですか。 ② 人への被害はありますか。 ③ 猟友会の捕獲状況はどうですか。 ④ 猿被害への有効な対策がありますか。 ⑤ 鳥獣害に対する今後の対応・対策をどの様に考えますか。</p>		
4	広田 精治	1. 子育て支援について	<p>(1) 小・中学校の給食費無償化について以下伺う。 ① ここ数年、全国及び県内で小・中学校の給食費を無償化する自治体が広がっている。こうした状況を踏まえた本市の検討、対応を伺う。 ② 過年度(平成30年度から令和4年度まで)の給食費の保護者の負担実績を伺う。 ③ 政府による「こども未来戦略方針」は無償化の方向でようやく調査を行うことを掲げた。本市も他の自治体同様、国に先駆けて無償化に踏み出すべきではないか伺う。</p> <p>(2) 国民健康保険税の子どもに係る均等割額の減免に関して以下伺う。 ① 令和3年度から令和5年度までの子どもの均等割(医療分・支援分・介護分)の課税実績(総額、子どもの数)について ② 過去5年間の加入世帯当たりの国民健康保険基金の推移について ③ 令和4年度から実施された未就学児の均等割の国、県及び市による減額措置が適用された世帯数と未就学児の数について ④ ③の措置による子育て世帯の経済的負担軽減の効果及び評価について ⑤ 子どもに係る均等割を免除した場合に新たに必要な財源額について</p>		
		2. 旧県立野津高校跡地の利活用事業に関連して	<p>(1) 9月定例会後の進捗、株式会社NEXT FARMの破産手続開始に関して以下伺う。 ① 同社代表の市長訪問・面会要請の取組、破綻に至る事実経緯の説明の有無について ② 同社から、取引先等が受けた被害の状況の把握について ③ 本事業で同社が調達した2億3千万円の用途について ④ 負債総額は4億6千万円と報道された。設立3年の企業として極めて異常だが、金融債務以外の負債について把握しているか伺う</p> <p>(2) 債権回収について以下伺う。 ① 同社の休業以後、破産手続開始決定までの8か月、債務名義確定・仮差押を求める訴訟は起こせなかったのか。 ② 市の債権届出額、今後の回収、債権者集会に臨む方針について。</p> <p>(3) 株式会社NEXT FARM社の残置資産と原状回復義務に関する調整の現状を伺う。</p> <p>(4) 利活用事業の失敗について、「農林業振興の拠点施設」「地域住民の交流の場」という基本方針は立地に合致していたか、また、事業者と、事業者が展開したレストラン、野菜等の販売、キッズルームといった施設等の運営、業態、業種及び事業計画はどうだったかについての検証、判断を伺う。</p> <p>(5) 利活用事業者の経歴、過去の実績、高校跡地利活用計画のどこを重視、評価して選定したのか伺う。</p>		

【一般質問】通告書(令和5年12月定例市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
5	奥田富美子	1. 白杵市の観光の現状と今後の取組について  2. 低所得者層の子育て支援について	(1) 白杵市では「白杵にまた訪れてみたい」という白杵ファンを増やす取組を実施してきましたがその効果と現状についてはどうなっていますか。なかでも国宝白杵石仏については「石仏パーマ」などのユニークな取組で注目を集めました。白杵石仏の拝観者数の推移についてお尋ねします。 (2) 市街地観光客数の現状についてどうなっていますか。来客数を把握するための調査の必要性についていかがお考えでしょうか。 (3) 白杵城や武家屋敷、町中の空き家を活用した宿泊施設整備を検討してきましたが、その進捗状況はどうなっていますか。 (4) 観光施設のWi-Fi整備状況について、現在整備済みの施設と今後の予定についてお尋ねします。  (1) 子育て世帯のうち、低所得者世帯やひとり親世帯の支援についてお尋ねします。白杵市のひとり親を含む、低所得者世帯のご家庭は全体の何%ですか。 (2) 白杵市では、それらの子育て世帯への支援としてどのような取り組みをしていますか。 (3) ある医療系の仕事に従事するひとり親世帯の方が「子どもが小さいので平日の夜間や休日に急に仕事が入ると子どもを見てもらえる場所も人もいない」という現状を耳にしました。そのような場合の支援はありますか (4) 低所得者層や身近に支援してくれる方がいないひとり親を支援する「ファミリー・サポート・センター事業」や「家事支援事業」の利用状況はどうなっていますか。現状と課題についてお尋ねします。		
6	平川 幸司	1. 市が管理する老朽化した建物について	(1) 市庁舎について ① 現状について ② 課題について ③ 今後の計画について (2) 教育施設について ① 学校について ② 給食センターについて (3) スポーツ施設について ① フジジンの杜スタジアムについて ② その他のスポーツ施設について		

【一般質問】通告書(令和5年12月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
7	戸 匹 映 二	1. 認知症対策について	(1) 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法(以下「認知症基本法」という。)」の成立と白杵市の取組について ① 国民に認知症への理解を深めてもらうための「認知症の日」及び「認知症月間」についての白杵市の取組を伺う。 ② 認知症基本法の基本的施策に関連する白杵市の認知症施策の取組の現状を伺う。 (2) 認知症高齢者等の個人賠償責任保険事業について ① 令和4年9月の一般質問において、認知症高齢者等の個人賠償責任保険事業について調査研究を行うとの答弁を頂いたが、その後の進捗を伺う。		
		2. 市内の交通安全対策について	(1) 信号機のない横断歩道で歩行者がいる場合の車両一時停止について ① JAFの調査によると、県内の停止率は前年より低くなり、都道府県別の順位も38位へと下がっている。白杵市としても啓発の強化等の対策が必要と考えるが、その現状と考えを伺う。 (2) 子どもの交通安全対策について ① 子どもの交通事故原因では、通学路や生活道路での歩行者や自転車の飛び出し事故が多いという警視庁の調査があるが、現状の対策を伺う。 ② 子どもの歩行中や自転車での飛び出し事故を防ぐため、自治会や学校などへ貼付け式のストップマークの交付を行い、活用を推進しては如何か。		
		3. 白杵市の温室効果ガス排出削減対策について	(1) 白杵市地球温暖化対策実行計画(白杵市役所温室効果ガス排出削減計画)について ① 令和4年度を目標年度とした第3期計画の実施による成果と課題認識を伺う。 ② 第4期計画はどのようなになっているのかを伺う。 ③ 公共施設への太陽光発電の設置や公用車への電気自動車の導入など、一定程度設備投資の伴う事業も必要と考えるが如何か。 (2) 市民や事業所等への啓発について ① 市民や事業所等への啓発活動の状況を伺う。 ② 市民や事業所等へ地球温暖化への意識啓発の事業を推進していただきたいが如何か。 ③ 白杵市のゼロカーボンシティ表明についての考えを伺う。		